

2022年6月 第737号



# 教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

## キョードーセンキョーシボク

教会委員会委員長 芦沢信

何やら呪文めいた響きのある言葉ですが、少しずつ私たちの中で理解が進んできたと共に、教会活動の中で変化が起きてきていると感じます。

梅村司教様が「交わりとしての教会」を実現する手段として、共同宣教司牧という方針を打ち出されてもう15年になります。その精神は、自分だけの狭い考えの中に閉じこもってしまうような個人主義的な信仰ではない共同体的な信仰を育てていくことです。内容としては、

①すべての人が信徒・修道者・司祭という枠を超えて、洗礼を受けた一人の「神の民」として責任をもって、使命を果たすために協働すること。つまり、主任司祭依存型の体質からの脱却です。

②もうひとつは、小教区の枠を超えて複数の小教区が協力しながら共に考え歩いていくことです。

①は教会委員会の常任委員会の活動や、ブロック・外国籍グループの活動が自主的・主体的に行われるようになってきたと感じています。しかし、時々「神父様に聞いてみないと」という声が聞こえたり、逆に主任司祭に相談なく重要な決定がされたりと、アクセルとブレーキの兼ね合いがまだ手探り状態であるのも事実です。

②は山梨地区としての研修会や司祭の巡回ミサ、東北支援プロジェクト等で一定の成果が得られていますが、コロナ禍の影響で中断や規模縮小のやむなきに至っています。今後の活動再開と発展が望まれます。

③として、私は外国籍信徒との交わりを掲げたいと思います。ご存じのとおり、この教会では主日ミサに与る人の半数を外国籍の方が占めています。日本人信徒の減少に伴いこの傾向は益々拡大することでしょう。近い将来、外国籍の方との協働がなければ教会活動は成立しないことになるでしょう。梅村司教様も外国籍信徒は「お客さん」ではなく、「フルメンバーである」と言われています。甲府教会では教会委員会に外国籍5グループ代表が参加し、各ブロックへの登録やブロック別ミサへの参加も増えてきました。私個人としては「交わりは深まっている」との認識でした。

ところが最近、ある外国籍グループのリーダーに言われました。「私たちは、もっともっと日本人信徒と一緒に教会の活動に参加していきたいと思っている。でも言葉の壁があってできないことが多い。日本人は私たちのつらさを理解して、伝えたり理解してもらおう努力をもっとしてほしい。」本当に反省させられる指摘でした。「キョードーセンキョーシボク」が、外国籍の方と真に手を携えた「共同宣教司牧」になるよう神様にお願いし実践していきたいと思っています。



# おしらせ



## 1 ミサについて

感染者数の減少傾向、県の規制緩和、高齢者3回目接種の進捗状況を踏まえ定員を聖堂40名定員(該当ブロック)講堂60名定員(該当ブロック)にて行っています。

聖堂と講堂に受付を設置いたしますので、ご自分が所属しているブロックの受付にて名前と連絡先の記入もしくは確認をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ミサに出席される方は、当日朝自宅にて検温をお願いいたします。普段より体温が高い、また体調がすぐれないなどの場合は、ミサへの参加自粛をお願いいたします。皆様のご協力をお願い致します。

## 2 帰天のおしらせ

アグネス 丸茂 普美(まるも ふみ)様(北ブロック)が5月3日に帰天されました。葬儀は、5月5日ご家族のみにて行われました。丸茂様の在りし日のお姿を忍び、永遠の安息をお祈り致します。

## 3 司祭館の清掃

5月から信徒による司祭館の清掃を行うようになりました。清掃場所は司祭館1階と階段です。講堂で主日のミサに与るブロックが担当となり、従来の講堂と外部トイレに司祭館が加わります。

## 4 施設管理委員会より

教会内に雑草が生えてきており、現在施設管理委員が行っていますが、気づいた信徒の方も積極的に草取りをお願いいたします。(秋の落ち葉掃きもお願いいたします。)  
聖堂南にプランターを設置いたしました。年間を通して管理をしていただける方、お花を植えていただける方を求めています。(現在2名希望者がございますが、多数の参加をお待ちしております。)費用は施設管理委員会負担です。施設管理委員会までお願いいたします。

## 5 聖ペトロ使徒座への献金

6月26日(日)は『聖ペトロ使徒座への献金』の日となっています。ブロックミサが実施されているため、19日(日)と26日(日)聖堂と講堂に献金箱を設置いたします。ご協力をお願いいたします。

## 6 財務委員会より

コピー機の保守管理料 2022年4月支払い分は前月ひと月で使用量 7,395枚 (33,277円) でした。

改めて、教会のこと以外には使わないという確認をお願いします。教会内の使用も20枚までとし、それ以上必要な場合は印刷機(コピー機横に設置)をお願いします。コピー機は消耗品費の他に保守管理料が1枚4~5円かかるので高くなります。不便で面倒でも経費節約にご協力ください。印刷機の使い方がわからない方は事務局にお問い合わせください。

過去1年のコピー機の用状況(次月払い)

2021-5 8,466円(1,881枚) 2021-6 18,832円(4,185枚) 2021-7  
15,208円(3,380枚) 2021-8 5,979円(1,329枚) 2021-9 8,175  
円(1,817枚) 2021-10 8,693円(1,932枚) 2021-11 5,560円(1,236  
枚) 2021-12 9,116円(2,026枚) 2022-1 11,779円(2,618枚)  
2022-2 5,494円(1,221枚) 2022-3 11,575円(2,572枚) 2022-4  
33,277円(7,395枚)  
年間支払額 142,154円

7 きずなの会 お休みいたします。

8 青少年育成委員会 6月12日(日) 11:30 ~ センターホール

9 典礼委員会 6月18日(土) 9:00 ~ センターホール

10 地域福祉委員会 6月19日(日) 11:30 ~ サントルチア講堂

11 広報委員会 6月27日(日) 13:00 ~ センターホール

.....  
**関係団体などからのお知らせ**

1. NPO法人こどもサポートやまなし

①理事会・運営委員会

6月21日(火)18時30分より、サントルチア講堂で行います。

②学習会

今月の学習会は、6月12日(日)、6月26日(日)の13時30分より  
山梨カトリック福祉センターで行います。

2. 山梨ダルクを支援する会運営委員会

6月17日(金) 18:30~ 山梨ダルク本部

## 聖ペトロの使徒座への献金

教皇は毎年、世界各地を訪問します。そして、人々の苦しみや悩みを聞き、優しい笑顔で力づけ、数々の援助を与えます。キリストの代理者、教会の最高牧者である教皇は、祈りと具体的な援助を通して全世界の人々にいつも寄り添っているのです。この教皇に心を合わせて、わたしたちも世界中の苦しんでいる人々のために祈りと献金をささげます。教皇のこうした活動のために充てられる聖ペトロ使徒座への献金は、8世紀ごろイギリスで始まった、大人も子どもも一番小さなお金である1ペニーを毎年教皇に献金する運動がもとになって世界中に広まったものです。

「あなたはペトロ。わたしはこの岩（ペトロ）の上にわたしの教会を建てる」（マタイ 16・18）と天の父の啓示による告白「あなたはメシア、生ける神の子です」と言われたペトロの上に、イエスが教会を建て、その中でペトロは大きな権限が与えられた。それはペトロに教会の礎としての使命が委ねられたのである。そこからペトロは、教会の最初の司教としてアンチオキアに使徒座を置いた。その後ローマへ宣教に行き、バチカンに使徒座の基礎を築いた。4世紀に聖アンブロジオは「ペトロがいるところに教会がある。教会があるところに、キリストがいる」と告げ、この日の大切な意味を解明した。つまり聖ペトロは、イエス・キリストから直接、最高の使命を授かったのである。



今日この日、全世界のカトリック信者は、ローマの聖ペトロ使徒座と一つになって2000年継承されてきた「使徒信条」を唱え、お祝いする日なのです。（こころのともしびHpより抜粋）

### ～芹沢神父と共に行く早朝塩山巡礼の旅～

ブロックミサのない日曜に車で芹沢神父様と共に塩山へ行きミサに預かって来ませんか？塩山の皆さんとの交わりも深まります。一人が年内に2回位行くだけで共同体としての喜びは大きなものになります。招きに応えて自ら行きたいと願う人を集めています。自由意志です。全て自己責任ですがお恵みはあられます。興味がある方は<旅担当 志村>までご連絡下さい。年内の第2、第5日曜はすでに予約済みですので他の日へお申し込み下さい。

7:30 甲府教会発(8:15 までに塩山教会到着)、8:30~9:30 ミサ、10:00 頃甲府着

## 6月はイエスのみ心の月

イエスのみ心は全人類に対する神の愛の象徴としてイエスの心臓を表し、その信心はイエスのみ心に表される神の愛を思い起こし、その無限の愛のしるしであるみ心をたたえるものとして中世に始まりました。

特に聖マルガリタ・マリア・アラコック（1647-90）がみ心の信心についての啓示を受けて17世紀にフランスで広まりました。1675年6月16日、この聖女はご聖体を前にして、イエスの愛にこたえたいという思いに駆られました。そのときイエスは、愛情に燃えているみ心を示して、人々の間に存在する冷淡な心を嘆かれ、イエス自身の愛に倣ってその心を尊ぶことを勧められました。



またこのようなイエスの出現が数回にも及び、ご聖体の祝日(キリストの聖体)後の金曜日をみ心を礼拝する特別な祝日として定めるようにとのお告げにより、み心の信心の内容と形式が明確にされるようになりました。

そして1856年に教皇ピオ9世によってイエスのみ心の祭日のご聖体の祝日後の金曜日に全世界で祝うことが定められました。ご聖体とみ心の主日がおおよそ6月に祝われるというこのような歴史からして、次第に6月が「イエスのみ心の月」と自然に浸透し、制定されてきたことは十分に考えられます。

### み心の信心

教皇ベネディクト十六世は、イエズス会のコルヴェンバッハ総長宛に、み心の信心を勧めたピオ十二世回勅『ハウリエティス・アクアス』（1956年5月15日）発布50周年を記念する書簡（2006年5月15日付。発表は5月23日）を送り、こう述べています。

「槍で刺し貫かれたイエスの脇腹（ヨハネ 19・34 参照）を礼拝しながら観想することにより、わたしたちは、人びとを救おうとする神のみ旨を感じることができるようになります。……『槍で刺し貫かれた脇腹』の内に神の限りない救いのみ旨が輝いています。ですから、この脇腹を仰ぎ見ること（み心の信心）を、過去の礼拝ないし信心の形と考えてはなりません。刺し貫かれた心という象徴に歴史的な信心の表現を見いだした神の愛の礼拝は、神との生きた関係にとって不可欠なものであり続けます」。

み心の信心は、教会において基礎となるものであり、キリスト教の中心といえるものでありますから、イエスのみ心の限りない愛に対して、できる限りの愛をもってこたえるというみ心の信心の目的をしっかりともちながら特にこの月を過ごしていきたいものです。

（カトリック中央協議会 HP より掲載）



## 主日ミサ 該当ブロック表



日	時間	場所	該当ブロック
6月 5日(日)	10:30~	聖堂	西ブロック
		講堂	山城・峡南ブロック
6月12日(日)	10:30~	聖堂	東・南ブロック
		講堂	中央・北ブロック
6月19日(日)	10:30~	聖堂	山城・峡南ブロック
		講堂	西ブロック
6月26日(日)	10:30~	聖堂	中央・北ブロック
		講堂	東・南ブロック



### 今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



6月 3日(金) 初金ミサ	9:30 ~ ミサ	
5日(日) 聖霊降臨の主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	14:00 ~ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)	
12日(日) 三位一体の主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
19日(日) キリストの聖体	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	15:00 ~ スペイン語ミサ (Español)	
26日(日) 年間第13主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	14:00 ~ 英語ミサ (English)	
7月 1日(金) 初金ミサ	9:30 ~ ミサ	
3日(日) 年間第14主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	14:00 ~ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)	



今年度、新しく小学校に入学したお子さまや各学年に転入された方がいらっしゃいましたら、教会学校・中高生会のご案内をさせていただきたいと思っておりますので青少年育成委員会までお知らせください。お待ちしております！